

第 15 章 図書館の利用について

■図書館

初めに大学生活における図書館の位置について考えてみましょう。

学生の勉強は教室に座ってノートをとるだけではありません。そこでは疑問を持ったり、もう少しよく知りたいと思うことができたときにそれを自分で調べたり、突き止めたりすることが必要になってきます。教室の授業はそういう勉強の一部にすぎず、自分で考えるキッカケとなるものです。

あるいは又、自分の考えを他人によく分かるように文章という目に見える形にまとめることも、学生の大切な勉強の一つです。

それには自分が調べたいことについてどういう資料がどれだけあるか、それはどこにあり、それを手に入れるにはどうしたらよいか。図書館とは、そういう疑問を解決するための手立てを与えてくれる所です。あるいは得られた資料をもとにして、静かに思索する所です。

図書館は、この意味で学ぶことを中心となるでしょう。

百科事典や目録の類の本を集めたレファレンスのためのスペースが私たちの図書館の真ん中を占めているのは、調べたり、突き止めたりということが、これから学生にとってごく当たり前のことになるだろうと考えたからです。

まず図書館員は単なる貸し出し係ではないことを知って欲しいのです。館員は図書館の資料を整える仕事を目に見えない所でやっているだけでなく、学生の相談にのることが大事な仕事になっています。図書館の中にある資料を駆使してここにはない資料も調べられ、それを他の図書館から取り寄せることもできるのですから、学生はどんどん相談に行ったらよいのです。

そのためには図書館は、みんなの足が自然に向かう所であって欲しいです。そこで外から見ても明るく、訪れた人がのびやかな心になれるよう様々なくふうをこらし、居心地のいい空間を作りました。図書館は調べに行くだけではなく、ゆったりとした気持ちで本に親しむ場所としても大切です。

そのほか、視聴覚資料も本と同様にどんどん個人で利用して欲しいです。そのための資料も整え、設備も充実しています。これもこの図書館の特色となっています。

よく整備された図書館が学生たちの生活を活気のあるものとし、学校全体を大きく前進させる力になるものと私達は期待しています。
(図書館長)

■入館にあたって

開館時間 月曜日～金曜日 8:45～17:55
土曜日 8:45～12:50

※開館時間の変更があった場合には掲示で知らせるので注意してください。

休館日 日曜日・祝日等大学の休業日
春夏冬休暇中の一定期間

■利用者の心得

- ① 図書館の連絡は全て掲示によります。図書館入口の掲示に注意してください。
- ② 資料を無断で持ち出さないでください。
- ③ 館内では静粛を保ち、飲食・喫煙を禁じます。
- ④ 携帯電話などは、館内では使用しないでください。
- ⑤ 机上の紙くずや消しゴムのかすは、自分でかたづけてください。
- ⑥ 校内放送は基本的に入りません。
- ⑦ ブックリフトは危険ですから、さわったり、中に入らないでください。
- ⑧ 他の利用者の迷惑になるような行為はしないでください。
- ⑨ トラブルが起きたり困った時は、すみやかに館員に連絡してください。

■館内閲覧

資料はすべて自由に閲覧できます。利用後は、必ず書架の元の位置に戻してください。(但し、DVDはカウンターで視聴の手続きをしてください。)

■館外貸出

貸出時間 月曜日～金曜日 8:45～17:45
土曜日 8:45～12:50

※休暇中など貸出時間に変更になる場合は、掲示で知らせますので注意してください。

貸出冊数・貸出期間

	貸出冊数	貸出期間
図 書	原則15冊以内	15 日
雑 誌	原則 3 冊以内	8 日
視 聴 覚 資 料	原 則 2 本	3 日

貸出手続

図 書：カウンターで学生証と図書を提示してください。学生証がないと図書を借りることができませんので注意してください。手続きがすんだら、図書返却期限票（返却日のスタンプが押してあるカード）を忘れずに持って行ってください。

雑 誌：カウンターで雑誌貸出票を受け取り必要事項を記入し提出してください。

視聴覚資料：カウンターで視聴覚資料貸出票を受け取り必要事項を記入し提出してください。

返却手続

資料をカウンターへ提出してください。止むをえぬ事情で期限までに返却できない場合は、電話等で連絡してください。

貸出期間の延長

予約のない限り、1回まで延長することができます。図書の場合、OPACからも延長できます。

ただし、春・夏・冬の休暇中の特別貸出の図書は延長することができません。

延 滞

返却期限に遅れた場合、遅れた日数だけ貸出停止になります。

予 約

求める図書・雑誌・視聴覚資料が貸出中または整理中の場合は、カウンターで予約すると優先的に借りることができます。図書の場合、OPACからも予約できます。

連絡は掲示で知らせますので注意してください。

禁帯出資料

参考図書等の禁帯出資料は、原則として館内閲覧のみで貸出はしません。ただし、貴重図書を除く資料については、一夜貸出（16：00～翌朝9：00、ただし土曜日は12：00～月曜日9：00）をします。

レファレンスサービス

図書館の資料を駆使して種々の疑問に答えたり、図書館の利用法や資料の効果的な探し方などについての助言を行っています。わからないことがあれば、遠慮なく館員に相談してください。

文献複写サービス

当館の資料に限り、1名につき1部複写ができます。

複写料金 1枚10円

学外文献複写サービス

当館に求める資料がなく、それが他の図書館にあるときは、依頼をして複写物を取りよせることができます。希望者は館員に申し出てください。

他の大学図書館・機関の利用

当館以外の大学図書館を利用したいときは、当館発行の「閲覧願」が必要な場合があります。利用希望者は、館員に申し出てください。

国立国会図書館の利用

国立国会図書館の資料を利用したい場合は、館員に申し出てください。

購入希望図書

図書館に備えてほしいと思う図書があるときは、所定の用紙に記入し、目安箱に入れるか、直接カウンターの館員に提出してください。要求のあるものは、できるだけ購入したいと考えています。購入希望図書は優先的に借りることができます。掲示で知らせますので注意してください。

図書館に対する要望・意見

図書館に対して要望・意見のある場合は、所定の用紙に記入し、目安箱に入れてください。要望・意見に対する回答はその都度掲示（2週間）しますので注意してください。

■図書館が行うサービス

ラウンジ

自由に新聞を読んだり、談話ができる部屋です。当日の新聞やPR誌が置いてあります。閉館中も利用できます。

カウンター

カウンターでは、貸出・返却、レファレンスサービス、図書館利用案内などを行っていますので、何でも相談してください。

情報検索コーナー

パソコンが利用できます。蔵書検索用コンピュータ（OPAC）もあります。当館に所蔵している資料はコンピュータ（OPAC）で検索することができます。

レファレンスブックコーナー

目録・書誌・索引・辞典・年鑑等の参考図書が配架してあります。これらの資料は原則として館内閲覧のみで貸出はしません。

一般開架及び地下書庫

図書は1階、2階の書架に概ね分類番号順に和書・洋書の区別なく配架されています。和書は青、洋書は茶のラベルが貼ってあります。全蔵書のうち、一部は地下書庫にあるので注意してください。地下書庫の図書は、カウンターで請求してください。

ブラウジング

くつろいで本や雑誌に目を通すことのできる場所です。雑誌架には最新のものが置かれています。雑誌は和雑誌・洋雑誌別に雑誌名のアルファベット順に配架されています。

雑誌バックナンバー

雑誌のバックナンバーは2階の書架番号C-1～8に配架されています。

紀要

地下書庫に発行機関名のアルファベット順に配架されています。

別置図書

① 指定図書・教育参考図書

これらは講義を受ける際、参考とすべき資料であり、書架番号D-2に配架されています。

② 復刻本（ふっこくぼん）

「明星」「赤い鳥」等の復刻本は書架番号D-4に配架されています。これらの資料は原則として館内閲覧のみで貸出はしません。

③ 文庫本・岩波新書

各種文庫本は書架番号D-7に、岩波新書（黄版・新赤版）は2階の書架番号C-9に配架されています。岩波新書（青版）は2階の書架番号D-8に配架されています。

④ 大型本

美術全集、写真集、地図帳などの大型本は書架番号D-3、D-5～6に配架されています。

⑤ 中型本

一般書架に入りきれない大きさの図書は、中型本として別置しています。分類番号000～359・930～999の図書は書架番号B-33～34に配架され、分類番号360～929の図書は書架番号B-82～84に配架されています。

⑥ 岩波ブックレット・同時代ライブラリー・有斐閣アルマ

岩波ブックレット・同時代ライブラリー・有斐閣アルマ・岩波新書（赤版・青版）は2階の書架番号D-8に配架されています。

⑦ 紙芝居・大型絵本

紙芝居及び大型絵本は特集コーナーの書架に配架されています。

南文庫

俳諧関係の図書を中心とした国文学研究書のコレクションです。南文庫は館内閲覧のみで貸出はしません。

セミナー室

グループや個人の利用だけでなく、図書館資料を使った授業に利用できます。視聴覚機器が設置されていますので、視聴覚資料も利用できます。利用の申し込みは、2週間前からカウンターで受け付けています。

視聴覚（AV）コーナー

DVD、CD、ビデオ、カセット、レーザーディスク等が自由に視聴できます。但し、

当館所蔵のDVDを視聴する場合は、DVDのケースを持って、カウンターで視聴の手続きをしてください。

グループ学習室

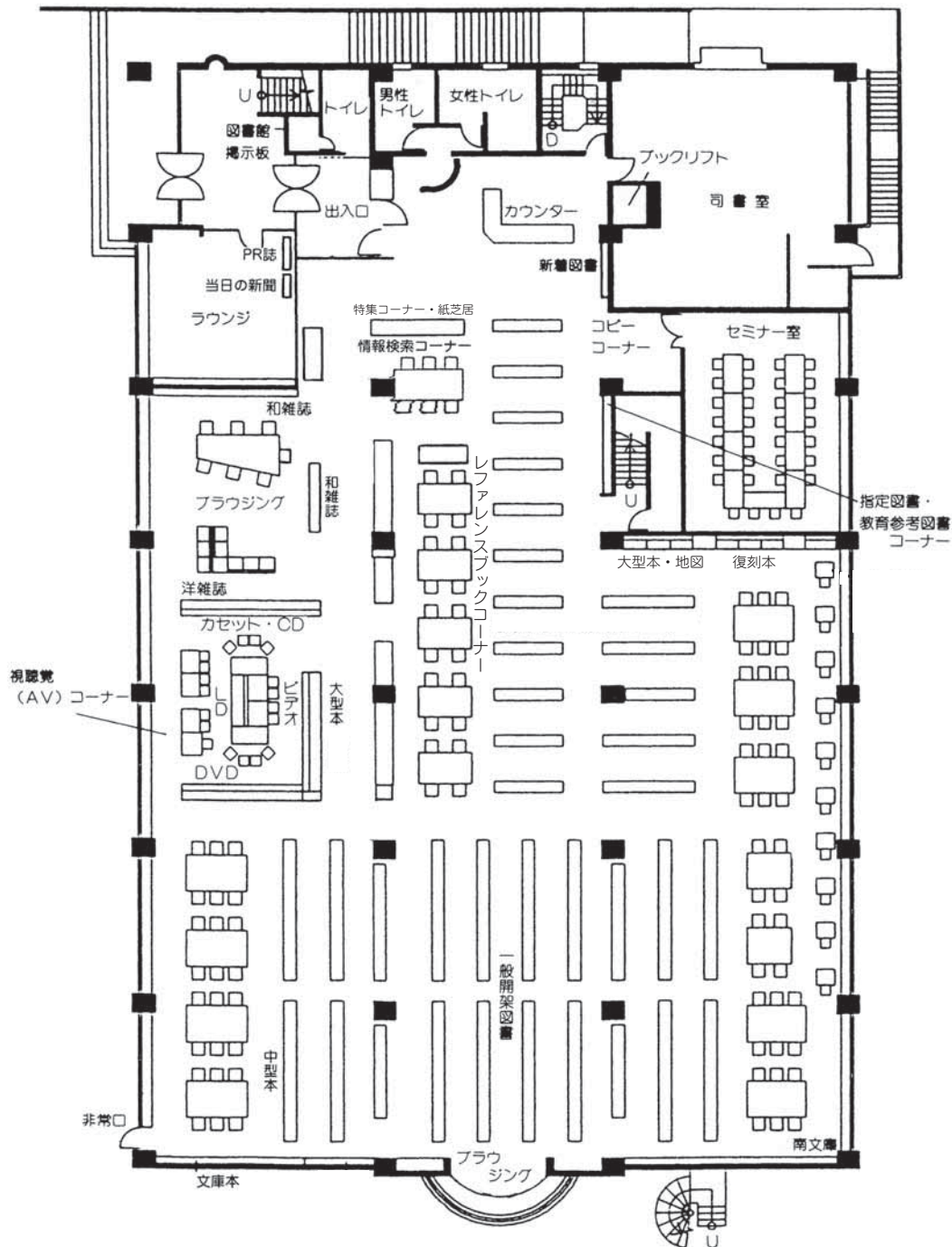
グループで学習したり、調べものをする時に利用できます（10人まで入室可）。利用する時はカウンターで手続きをしてください。

研究個室

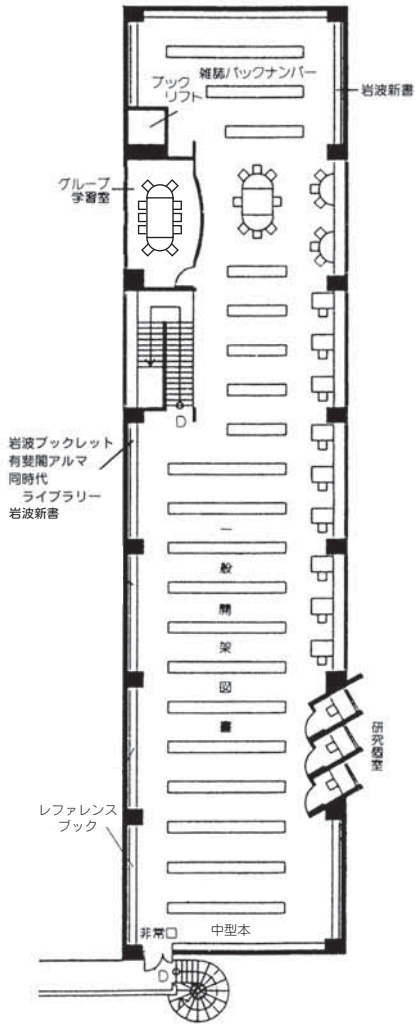
個人で学習、研究に専念できる部屋です。利用する時はカウンターで手続きをしてください。

■館内案内図

Shizuoka Eiwa Gakuin University 1階



2階



地下書庫

